



## OF ケーブル／接続部の簡易漏油補修工法の紹介

### Introduction of Simple Oil Leakage Repair Construction Method for OF Cable/Connection

#### 1. 概要

国内の特別高圧ケーブルは、従来使用されていたOFケーブルからCVケーブルへ多くが切替られています。一部の電力重要回線や民間工場等の電力供給回線として現在もOFケーブルが使用されています。OFケーブルの多くは高経年による老朽化に加え、地震等による外力を受けて、終端接続部や中間接続部の鉛工部から漏油が発生することが懸念されています。

鉛工部の漏油補修工法としては、一時的にゴムチューブ等で油止めする方法がありますが、本補修としては一般的に鉛工部の解体・再鉛工が実施されています。

これらの作業は、高度なスキルが必要であり、CVケーブルが主流となった昨今、作業が出来る人員の確保が難しくなっており、鉛工作業が不要となる新たな補修方法が要望されています。

この度、ポリマー樹脂を適用した簡易漏油補修工法を検証しましたので、紹介します。

#### 2. 用途

特別高圧の変電設備や地中送電設備において、主にOFケーブル接続部の鉛工箇所が発生する漏油補修が適用箇所となります。重要な電力供給設備であることから、容易に長時間の停電作業が出来ない設備が多いため、早急な対応と短時間での復旧が求められる中で、短時間でかつ高度なスキル無く作業が可能な簡易漏油補修工法が有効な手段となります。

#### 3. 特長

使用するポリマー樹脂（エポキシベースのセラミック系樹脂）は、主剤と硬化剤の混合により硬化し、硬化後には金属のように硬くなるもので、特長としては「油と融合して接着・硬化」が容易となります。速乾硬化樹脂で初期の油止め、次に一般硬化樹脂で仕上げます（図1、図2）。

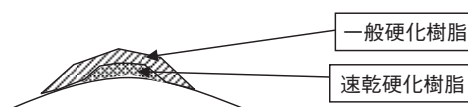


図1 補修箇所断面



図2 補修状況

社内実験では、油を出しながらも漏油箇所が塞がること、0.6～1.0 MPaの油圧で約半年間（2020年1月～8月）漏油が発生しないことを確認しています（図3）。



図3 補修実験後加圧放置（半年）状況

問合せ先：〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町1-14(キューブ川崎)  
昭和電線ケーブルシステム(株)  
電力・インフラ営業部 電力・電機営業課  
電話(044)223-0534 FAX(044)223-0557